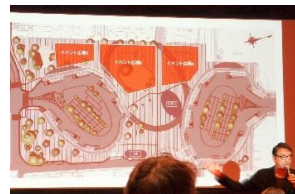


イベント広場について意見やアイデアを語り合う「Chofu 未来カフェ」開催

調布駅前広場の整備が来年3月末にほぼ完了し、駅前に3つのイベント広場(ゾーン)ができる。広場A、広場B、広場Cに分かれ、合計2351平方メートルという広い空間となる。今回は、この広場Aと広場Bでのイベントなどを自由に語り合い、意見を出し合う「Chofu 未来カフェ～調布駅前広場のこれからを語り合おう～」が8月23日(土)にたづくり12階大会議場で開催された。

市民や事業者など約30人が参加し7班に分かれ、喫茶店のように自由に語り合えるワールドカフェ方式で進められた。冒頭でファシリテーターの林田暢明さん(調布市まちづくりアドバイザー)が「話し合いが目的で結論を出す方式ではありません。ルールは唯一、相手の言っていることを否定しないこと」との説明があった。テーブルには幅広のクラフト紙が敷かれ、お菓子が並んでいた。自由にメモ書きできるようになっていたクラフト紙は「書かれたことはイベント広場活用の参考資料にします」(文化生涯学習課の担当者)とのこと。



「ドイツのクリスマスマーケットのようにホットワインを飲みながら楽しめる場に」「市内全体の統一した調布市民祭りができる広場に」「深大寺と協力して外国人を呼べる国際的なイベントを」などユニークなアイデアも出た。最後に林田さんが「街づくりに終わりはありません。今後も未来思考で活発な意見が出ることを期待したい」と語った。(大泉 清)

震災への備えを考える連続セミナー

公益財団法人草の根事業育成財団は、9月から震災への備えを考える集いを3回連続で開催する。第1弾は「コミュニティを考える」。9月13日午後6時半から調布市文化会館たづくり映像シアターで開かれ、首都直下地震に襲われたときに取るべき行動を考える。俳優堀内正美さんの講演のほか、『わたしの居場所』など2本の映画の上映がある。神戸在住の堀内さんは阪神淡路大震災に遭い、全壊したラジオ局から発信した「がんばろう、神戸」が復興のスローガンとなったことで知られる。事前申し込みは不要で、当日先着70名まで。

第2回は「食を考える」で10月25日に調布サレジオ神学院オラトリオで。第3回はハザードマップツアーで市内を巡る。詳しくは草の根財団のホームページに。同財団はより良い地域社会づくりを掲げて自ら体験活動を企画・運営するほか、地道な取り組みを続けている団体に助成金を交付してきた。2010年に小平で発足し、19年から調布に拠点を移している。

地元の怪談で涼しさを

『京王沿線怪談』(吉田悠軌・川奈まり子著、竹書房)が市内の書店で売れている。「夏+地元もの+ミステリー」が魅力で、40余話の短編の中では仙川、布田、国領、飛田給、京王多摩川も舞台になっている。暑い夜は怪談でひんやり気分を。

【FC 東京応援記】

順位アップの期待感が出てきていたリーグ戦も湘南との終了間際の不甲斐ない引き分けや京都との0-4の完敗でまた降格争いの不安が戻ってきた。けが人も増えて心配している中、浦和との天皇杯の逆転勝利は、東京の意地と根性をなんとか見ることができて良かったです。2011年以来の優勝まであと2つ。準決勝は11月16日の町田戦。町田には絶対に負けてほしくない。ところで8月10日の調布市への練習場移転の重大発表は全く予想していなかったのですがに驚きました。2028年とまだ先ですが地元調布のチームとして盛り上げていきましょう。(東京イチロー)

ちょビット

No.49

調布社協 インフォメーション



ひだまりサロン事業は、20周年を迎えました。地域のみなさんの支えにより各地域で活動が広がり、市内90か所以上のひだまりサロンで、日々たくさんの笑顔と笑い声が生まれています。

私たち調布社協は、この20年の歩みを未来に引き継ぐとともに、ひだまりサロンが人と人との交流の場となりつづけるよう、これからも地域のみなさんとともに活動します。



2025年9月 番組表

＜調布市民放送局の番組を見ることができます＞

◆ 姉妹都市木島平村のケーブルテレビ「ふう太ネット」で放送中！



調布 C A T C H J:COM 111chにて1日2回放送

テレビ番組

月	火	水	木	金	土	日
8:25 17:25	8:25 17:25	8:25 17:25	8:25 17:25	8:25 17:25	8:25 17:25	8:25 17:25
1 日 15 日	① 大温室夜間公開～都立神代植物公園～ 生い茂る葉に隠れるように咲いている「サガリバナ」。日が暮れるころに開花し、翌朝には散ってしまう一夜限りの「幻の花」とも呼ばれています。また、ライティングとシャボン玉のコラボも。無数のシャボン玉が噴水をバックに素晴らしい光景を演ずるバブルミネーションをお楽しみください。 ② リトルギャラリー:ふしぎなワクワク ～もによもによ～ 人形作家「もによもによ」さんによる、不思議なワクワクするぬいぐるみたちです。目には見えないけれど、私たちのすぐそばにいてもいいかもしれない、そんなゆかいな仲間たちがたくさん並びます。出会ったときのワクワクする気持ちを感じてください。					
16 日 30 日	① スポンジで 昆虫をつくる 調布市文化会館たづくりで、昆虫をテーマにした展示会が開かれました。そこに展示された精巧な昆虫の立体オブジェは、全部スポンジで作られていました。番組では、このスポンジ昆虫を作ったヨシカワゴエモンさんにインタビューし、スポンジ素材の魅力などについてお話を伺います。また、展示会と同時に開催されたワークショップで、スポンジ昆虫作りに挑戦した小学生たちの奮闘の模様もお伝えします。					



ラジオ

「調布わくわくステーション」(毎週月曜日、21時45分～22時00分)			
調布 FM:83.8MHz HP からは、インタビューの様子を映像でご覧いただけます。どうぞお楽しみに！			
月	放送日	内 容	ご 紹 介
9 月	1日(放送) 8日(再放送) 15日(再放送)	宮本苑生の『詩の世界』 若宮明彦さんの詩の朗読	若宮明彦詩集から、「小石少年」「貝殻少年」「凶鑑屋」「ナット—姫」「泣き方入門」「キャリアケースに詰めこんで」の朗読をお届けします。 解説:宮本苑生 朗読:峯田里香子
	22日(放送) 29日(放送)	ゲスト:ウルトラマンや仮面ライダーなどの特撮作品の監督、田口清隆さん	子供時代から、特撮好き、映画好きだったという田口少年が、特撮作品の監督になるまでの道のり、そして現在の活動についてなど2週に渡ってお伺いしました。 インタビュー:柴田紀恵子

HP

インターネットで、いつでもすべての番組を見ること・聴くことができます。👉 調布市民放送局で検索

<http://chofu-catch.or.jp/> (公式 HP)

(すべての番組2015年～現在まで)

<http://chofu-catch.sakura.ne.jp/> (アーカイブサイト)

(すべての番組2004年4月～2015年3月)

<https://www.facebook.com/chofubroadcast> (フェイスブック支局) (2015年～)



【公式 HP】



【アーカイブサイト】



【フェイスブック支局】



知らないアプリの名前 が出たら詐欺の電話

警察官をかたるニセ電話による詐欺が急増している。添付されているリンクは絶対に押さないこと。調布警察署(電話042-488-0110)では「電話口で秘匿性の高いアプリなど名前を知らないアプリを利用、と言われたら詐欺の手口。不審な電話はすぐに警察に相談してください」と呼び掛けている。

リチウム電池から火災 異常に熱いと感じたら注意

スマホやモバイルバッテリーのリチウム電池からの火災が今年に入り都内で既に150件以上も発生。調布消防署(電話042-486-0119)では「落としたり、衝撃を加えたときに火災に。充電中にも発生例がある。熱いと思ったら、膨張など異常を感じたらすぐに使用をやめてください」と注意喚起。



＜ご意見・ご感想をお待ちしています＞ 同合わせ先 <http://chofu-catch.or.jp/contact> ☎ 090-5576-1429

郵便 〒182-0022 調布市国領町 2-5-15、調布市民プラザあくろす 2 階 市民活動支援センター気付

【編集・発行】NPO 法人調布市民放送局 (事務所) 〒182-0035 調布市上石原 1-48-14